



富士山は、世界で何番目に高い山なの

名前がある山の中で、世界で89番目

世界の大陸には、高い山がたくさんあります。中でも、エベレスト(チョモランマ)山があるヒマラヤ山脈には、高い山がたくさんあります。

エベレスト(チョモランマ)山は、高さが8848メートルの、世界でいちばん高い山です。次に高いのがK2(ゴドウィンオースチン)で、8611メートル、3番目が、カンチエンジュンガで、8603メートルです。

富士山は、日本でいちばん高い山(3776メートル)ですが、世界中には、富士山より高い山が、おもな山だけでも88(理科年表による)あります。そうすると、富士山は89番目になりますが、地図に無い山なども入れると、それよりも低い順番になるでしょう。日本でいちばん高い富士山も、世界では、それほど高くありません。

山のでき方のちがい

山には、富士山のように、火山が、何回も噴火をくり返してできた、独立した山と、アルプスやヒマラヤ山脈のように、しゅう曲によってできた山脈(しゅう曲山脈)とがあります。

しゅう曲山脈は、地層が横のほうから、強い圧力(物をおしつける力)を受けたり、下からもち上げられたりして、地層にしわができて、しわの高い所が山に、低い所が谷になって山脈になったものです。現在、世界の大山脈のほとんどが、しゅう曲山脈です。

(監修・国司 真)

